



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生活協同組合	代表者	荻野 俊夫	法人・事業所の特徴	お祭りの盛んな飾磨区妻鹿にある事業所です。法人小規模多機能ホームの理念である「一人ひとりに寄り添う、地域に寄り添う」のもとに、住み慣れた地域で気持ちよく過ごして頂けるよう、利用者の思いを大切にして支援いたします。
事業所名	小規模多機能ホーム めが	管理者	的之 查努美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	人	1人	2人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			職員全員が意見を出し、それを踏まえて自己評価を行った。	
B. 事業所のしつらえ・環境	グループホームの出入り口と小多機の出入り口が良くわかるよう、掲示物等で工夫する。	新たな掲示物等は設置出来なかった。	グループホームへの来客が間違えて小多機玄関に来られる事が多い。	グループホームの出入り口と小多機の出入り口が良くわかるよう対策をする。
C. 事業所と地域のかかわり	近隣へポスティングでサービス内容を紹介する。 近隣に新築住居や子供が増えてきているので安全運転を心掛ける。	コロナでポスティングは控えた。 他の案件でもポスティングから相談等に至ったケースはなかった。 安全運転は出来ている。	近隣から社用車についての直接の苦情はなく、自治会でも特に報告はない。事業所は飾磨地区ではよく知られている。	引き続き安全運転を心掛ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			以前、利用者以外の方で地域包括と連携をとったことがあったが、今年度は特になかった。コロナ禍で地域の秋祭り、事業所の夏祭り共に中止になり地域住民と事業所利用者との交流が難しかった。	地域のイベントが開催された場合は感染対策をした上で利用者に参加して頂く。
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議内で事例検討会を行う。 次年度の自治会新役員にも参加して頂けるよう働きかける。	事例検討会は出来なかった。 民生委員・新自治会長に参加して頂けた。	平日では自治会長の参加は難しい。	運営推進会議を毎回土曜日開催にし自治会長や民生委員に参加して頂く。
F. 事業所の防災・災害対策	引き続き垂直避難訓練を行う。 スタッフ全員でハザードマップを確認する。	垂直避難訓練を行った。 ハザードマップを確認した。	利用者の体力的に訓練時階段で3階まで登るのは厳しい。	垂直避難訓練を継続して行う。